"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# 東京目黒ワイズメンズクラブ

ホームページ： http://www.asahi-net.or.jp/~uu9y-ktu/index.html
E-mail： meguro-ys@yahoogroups.jp
156-0051 世田谷区宮坂 3-23-2 東京 YMCA 南センター TEL 03-3420-5361 FAX 03-3420-5363

## ２０１５年 ５月号 Ｎｏ．５８５

| | | | |
|---|---|---|---|
| 会　長 | 村野　繁 | ＥＭＣ | 村野絢子 |
| 副会長 | 中田清子 | Ｂ　Ｆ | 山口愛二 |
| 書　記 | 福島　正 | ブリテン | 福島　正（編集） |
| 会　計 | 根本幸子 | ブリテン | 村野　繁（印刷） |
| 担当主事 | 山梨雄一 | ブリテン | 村野　繁（発送） |

| | | |
|---|---|---|
| クラブ会長 | **村野　繁**（東京目黒） | 老いても、前に進もう |
| 東新部部長 | **太田勝人**（東京世田谷） | 原点を見つめ、充実・飛躍そして楽しもう |
| 東日本区理事 | **田中博之**（東京） | 誇りと喜びを持って |
| アジア地域会長 | **岡野泰和**（大阪土佐堀） | 未来を始めよう、今すぐに |
| 国際会長 | Isaac Palathinkal（インド） | 言葉より行動を |

## ５月の強調月間

**ＥＦ**　Endowment Fund
（国際ワイズダムの発展のための特別基金）

**ＪＥＦ**
Japan East Y's Men's Fund
（東日本区ワイズ基金）

## 今月の聖句

ここに大麦のパン五つと魚二匹とを持っている少年がいます。けれども、こんなに大勢の人では、何の役にも立たないでしょう。

ヨハネによる福音書 ６章９節　　村野　繁／選

## ５月　本例会

日時　５月 13 日(水)13 時 30 分～15 時 30 分
会場　東京ＹＭＣＡ　南センター　２階会議室
会費　300 円　ビジター・ゲスト　歓迎
5/11（月）までに村野会長 03-3352-3252 へご連絡ください

| | | |
|---|---|---|
| | 司会 | 村野　繁 |
| 開会点鐘 | 会長 | 村野　繁 |
| ワイズソング | | 一　同 |
| 聖書朗読・ひと言・お祈り | | 司会者 |
| ゲスト・ビジター紹介 | 会長 | 村野　繁 |
| ティー・タイム | | |
| ＹＭＣＡ報告 | 主事 | 山梨雄一 |
| **クラブの評価 ＆ 新年度の行事について** | | |
| **～ みんなで話し合い ～** | | |
| おめでとう（誕生日・結婚記念日） | | |
| みんなで唄おう　**♪こいのぼり♪** | | 一　同 |
| 閉会点鐘 | 会長 | 村野　繁 |

## ＜ 今月は卓話はありません ＞

５月はメンバーによる話し合いを致します。
「これからの目黒クラブ」について、例えば
- 2016 年に迎える 50 周年記念例会の企画相談
- 今年８月の移動(納涼)例会のプログラム検討
- 新年度卓話の候補者リストアップ
- 目黒クラブの EMC、CS 事業の取り組み、DBC 交流(姫路クラブと締結 20 年)を視野に入れた事業計画と実行案

など、じっくり時間をかけて語り合う予定です。

**＜８月移動(納涼)例会の予告＞**
8/26（水）～28（金）那須しらかば荘
～那須クラブと DBC 締結記念交流会～

### ４月例会記録

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 在籍会員数 | 7名 | メン | 5名 | **使用済み切手** |
| 内・功労会員数 | (2 名) | メネット | １名 | 累計　4.585kg |
| メーキャップ | １名 | ビジター | ３名 | |
| **出　席　率** | **100%** | ゲスト | ０名 | **プルトップ** |
| **ＹＹ指数** | **180%** | 本例会出席者数 | ９名 | 累計　7.350kg |

**お誕生日おめでとう**

| （姫路クラブ） | （目黒クラブ） |
|---|---|
| ありません | ありません |

**結婚記念日おめでとう**

３日　菅原好紀・妙子さん

## 第二（事務）例会
5/１３ 本例会の中で行います

### ＪＥＦ（東日本区ワイズ基金）

1975年に第51回国際大会を熱海で開催するに当り、日本区全員よりの拠金と、大会終了後に国際からの還付金が基となり当初「アタミ基金」として発足し、その後「日本ワイズ基金」となり、1997年東・西日本区に分割譲与され「東日本区ワイズ基金」となった。

東日本区のワイズ運動を継続的に支えるために、個人やクラブで記念すべき出来事、行事、慶弔等の献金が基になり、名前、理由などが奉仕帳（日本版ゴールデンブック）に記載され永久に保存されます。この基金は東日本区の財政基盤強化と、ワイズ運動の更なる前進、又突発的事故や、自然災害支援のため等にも用いられます。基金として多くの方より献げられ、より有効に用いられることを願っています。

**ＪＥＦ運営委員長　村杉克己（東京北）**

## これからの　行　事　予　定

5/13（水）東京目黒クラブ本例会&第二例会
（南センター　２階会議室）
5/23（土）在京クラブ会長会
東京ＹＭＣＡ会員大会
6/6（土）～7（日）第18回東日本区大会
（厚木市文化会館、レンブラントホテル厚木）
6/10（水）　東京目黒クラブ本例会&第二例会
（南センター　２階会議室）
7/8（水）東京目黒クラブ本例会&第二例会
（南センター　２階会議室）

### 第４期オープンフォーラム“Ｙ”

５月23日（土）～24日（日）（１泊２日）
国立オリンピック記念青少年総合センター（代々木）

**【オープンフォーラムＹの目的】**

国内外の諸課題に対し、自分なりのアクションプランを持っている者、国内・国際協力、人道支援、ＮＧＯ、社会起業等で活動したい者、さらに学びたい者など様々なニーズを持っているユースが集まり、互いに学び、伝えあい、そして夢を実現する仲間をつくり、方法を具体的に考えるフォーラムです。

**【参加対象者】は**

環境破壊、貧困、ホームレス、紛争、難民、広がる教育格差など、国内外で起きている様々な課題に積極的に関わる意欲のあるユースの方々。

・ＹＭＣＡリーダー、学生ＹＭＣＡ、ＹＭＣＡ・ワイズプログラム参加者
・日本ＹＭＣＡ同盟主催の地球市民育成プロジェクト参加者（チューター含）
・ＩＹＣ・ＡＹＣ・ＹＶＬＦ　その他参加者を含む
・ＹＭＣＡの各専門学校生等

東日本区ユース事業主任　衣笠輝夫（埼玉）

## ４月　本例会　報告

４月８日（木）13時15分～14時55分
南センター ２階会議室

東京都心で“４月の雪は５年ぶり”となったこの日、皆さんが早目に集まった時間を利用し、例会前に村田榮さんが「那須クラブ20周年記念感謝例会」の模様をスクリーンにスライドショーしてくださり、一同で拝見できた。

定刻より15分早く、福島の司会、村野会長の点鐘で開会、一同でワイズソング。福島の聖書朗読と、「回心してパウロと名乗る記事から復活を覚えて神の恵み」のひとことがあった。ティータイムで歓談し一息入れた後、卓話を伺った。

今回は小原武夫さん。ＤＢＣの関わりの中から拡がった自身のワイズ活動と沖縄への思い入れに始まり、東京ＹＭＣＡ会員としての肩入れについて語っていただいた。神田美土代町から東陽町に会館が移った時に会員部活動委員会が組織され20名の委員な中から委員長が選ばれる。初代は鈴木健次（４年）、２代小原武夫（３年）、３代笈川光郎（３年）と委員長が続き、今期はピンチヒッターで再度委員長を引き受けている。東陽町センターは借用であるがＹＭＣＡ仕様で建てられて20年になる。このまま借用を続けるのか？　館内事業で生みだす収支は60%に過ぎない。陽春の集い、夏まつり、クリスマスオープンハウスなどのイベントや、チャリティーゴルフ、チャリティーラン（日本YMCA同盟主管）、近隣YMCAソフトボール大会にも会員部活動委員長として出席。かなり多忙な仕事内容にも触れられた。神田美土代町時代はプログラム参加会員を含めて６千人を擁していたが、現在は会費１万２千円を納入してYMCAを支える会員は１千人を割っている。これからの課題はボランティアリーダーやプログラム参加者をどう扱うか、会員のあり方を考え直すことも必要かとの指摘。その他、不登校生徒、フレンドシップファンド、障害者支援、国際協力募金、東日本大震災復興支援事業にも言及。一番大切な会員大会の参加者100名を増やす必要性を力説された。

例会の最後は姫路クラブの大西一也さんが選んだ「春の小川」を元気よく歌って閉会点鐘となった。

出席者は【メン】中田、根本、福島、村野繁、村野絢子、【メネット】福島、【ビジター】小原武夫（東京世田谷）、村田榮、村田紀美子（那須）、計９名、出席率100%。ＹＹ指数180%、欠席の山梨はＹＭＣＡ会議でメーキャップ、山口（功労会員）

4/8　東京目黒クラブ本例会　集合写真

## 4月　第二例会　報告

４月８日（水）15:00～15:15
南センター　２階会議室

**報告**

１）3/14 那須クラブ 20 周年に、村野繁、村野絢子、福島正、福島多恵子が出席した。
２）那須と東京目黒の DBC を３月 14 日那須クラブ 20 周年例会に於いて締結した。
３）14 日 20 周年例会後、那須しらかば荘で１泊して姫路・那須・東京目黒の交流会を行った。
４）国際ＢＦレベル２の表彰ワッペンを受領した。

**事務会**

１）来年度ロースターの校正と、注文数の再確認
２）東日本区大会(厚木)に、中田、村野、村野絢子が出席予定。
３）アジア地域大会(京都)に村野、村野絢子が参加予定。
４）8月の移動（納涼）例会の日程（8/26～28）と、会場を決め、那須しらかば荘の予約を村田榮さんにお願いする。

**卓話者予定**

5/13 評価 ＆ 新年度の行事について協議
6/10 鈴木田通夫さん（東京山手クラブ）
7/8　磯部成文さん（東京北クラブ）
8/26～28　移動（納涼）例会（那須しらかば荘）

出席者は中田、根本、村野、村野絢子、福島、村田榮、計６名

## ＜第３回東新部評議会＞報告

4月 18 日 AYC で開催、評議員 52 名のうち 32 名の出席者と委任状で評議会が成立しました。

太田勝人部長報告として、部長就任はクラブ輪番制が原則ながら受けられないクラブが大半となり部運営が難しくなった事、東京銀座クラブが６月末で解散する事、が報告されました。

東日本区役員会の審議報告では、来年度の区事務所体制は常駐一名、所長は渡辺理事が兼務する。クラブからのファンド送金先を部会計とする。区費等は事務所に送金することになりました。YES 基金は区内の EMC に活用して年度の残金を国際に納付することになりました。新クラブの準備状況として東日本震災地域でその動きがあるとのこと。

東新部次期部長の伊丹一之さんから「ワイズの良さを発信しよう」の主題と部役員の紹介がありました。また予算案が提示されました。会員減少を受けて収入が減っています。

## ＤＢＣを覚えて

**＝姫路クラブにシフォンケーキ 60 人分贈る＝**

4/29（水・祝）姫路ＹＭＣＡ太子キャンプ場で、岡山クラブ合同例会が開かれ、村野絢子さんがシフォンケーキ 60 人分を作って贈呈された。

## stop　ＨＩＶ/ＡＩＤＳ　columu

感染者報告数（東京都）2014.12/29～2015.2/22
HIV 感染者 34 件（昨年同時期 57 件）
AIDS 患者 14 件（　〃　9 件）
合計　48 件（　〃　66 件）

HIV 感染者数は昨年同時期を下回ったが、AIDS 患者数は上回っていることが報告されています。これが東京の現状ですが、４月に紹介した All In 運動が焦点を当てるのは以下の四点です。

・若者自らが参加、行動、成長し、変革の主体になること
・計画策定のためのデータ収集体制を改善すること
・若者が必要な HIV サービスを利用できる革新的手段を開発すること
・若者の HIV 対策を政策課題としてきちんと位置づけ、具体的な活動予算をつけること

（村野　繁）

## ☆にこにこメッセージ☆

**田中博之ワイズ（東日本区理事・東京）**

那須クラブ20周年感謝例会での那須クラブとのＤＢＣ締結、誠におめでとうございました。両クラブの友情が末永く続くことをお祈り申しあげます。那須クラブが行われているアジア学院の支援に東京目黒クラブも加わられる等、両クラブが力を合わせて事業に取り組まれ、クラブの活性化にも繋がることを期待しています。村野絢子さんのシフォンケーキも美味しくいただきました。（註＊4月ブリテン参照）

**中田清子ワイズ**

YMCA並びにY's に多大な奉仕をされ、現在も多方面に活躍の小原武夫ワイズの卓話は、Y'sメンの心得、YMCA、Y'sへの希望ets・・について先輩として長年の豊かな経験から語られる内容に深い感銘を受けました。毎年の南センターバザーではご夫妻で奉仕くださり、中でも餅つき/三色餅販売は人気イベントです。小原武夫ワイズの今後のご活躍を祈りつつ、卓話に感謝して。

**村野絢子ワイズ**
　小原さんの会員部の活動を伺いました。ワイズの活動は多岐に渡って、それぞれの地域に合った良い活動をしている事を改めて実感しました。

**村野　繁ワイズ**
　会員部小原委員長のお話は、ゴルフをしない／走らない私にとっては、皆さんが楽しみながら資金作りに励んでおられることが良くわかりました。

**福島　正ワイズ**
　4月例会に小原武夫さんをお迎えした。いつも明るい笑顔で対応される人柄に感心する。一番活気ある世田谷クラブの今日あるのは、小原さんが誘った小川圭一さんの素晴らしい働きだろう。ＹＭＣＡすずらん会、下北沢すずらん会や石巻歌の奉仕と云い、張替滋夫さんの入会から、太田勝人さんへと行動派の人脈が次々と育って活躍されてる現実を見逃せない。また、東日本区で3番目に長寿の冨田さんの存在も大きい。おそらく例会出席される方では最年長で、今年2月には小原さん一行に加わり、ＤＢＣの沖縄那覇クラブを訪問された元気さは他の模範で、小原さんの影響の大きさを改めて確認している。

## ＹＭＣＡニュース

（山梨雄一）

　４月１日　三法人合同の職員就業礼拝が行われ、新入職員の紹介や各法人の年度方針などの説明がなされた。４月９日（木）第 24 回チャリティーゴルフ大会が千葉・総成カントリークラブにて行われ、24 グループ 88 名の方々が参加をされた。益金については、障害のある子ども達のプログラムなどにも用いられる予定である。南センターでは ASCA クラス（発達障がい児支援プログラム）などに支援を頂いている。
　南センターの新年度は、定例野外活動など継続手続きが予測よりもやや少なく、厳しいスタートとなるが、今後、広報力などを強化し、会員増強も含めて、邁進していければと思う。

＜南センタースケジュール＞
５月１日（金）～３日（日）　東京 YMCA キャンプ Dir トレーニング（山中湖センター）
５月６日（水）　スキーキャンプ思い出会・報告会（チャレンジスキーキャンプ）
５月 12 日（火）サマーキャンプリーダーキックオフミーティング（山手センター）
５月 29 日（金）～31 日（日）東京 YMCA プレキャンプ
６月２日（火）サマーキャンプ申込開始（登録者・会員とその家族）
６月３日（木）サマーキャンプ申込開始（一般）
６月 11 日（木）～13 日（土）
　全国 YMCADir 研修会(高尾の森わくわくビレッジ)

## 国際マラリア・ディに寄せて

　４月 25 日は国際マラリア・ディです。この日は、世界の発展と健康な社会を実現するために、世界中の人々が殺虫剤付き蚊帳やその他の予防手段を含め、安価で、安全でしかも効率的な対マラリアの複合的な治療が受けられるよう、さらに努力を強めることを再確認する日です。
　ご存じのように、ワイズメン国際協会は、国際赤十字社やWHO、ＵＮＩＣＥＦなどとパートナーシップを組み、マラリアから命を守る運動、「ロールバック・マラリア（ＲＢＭ）」に参加しています。ＲＢＭの 2010 年～2015 年の目標は、65，000 張りの蚊帳を調達するために 50 万スイスフランの献金を集めることです。ワイズメン国際協会は、ＲＢＭへの支援を 2015 年３月までの５年としていましたが、この運動がまだまだ道半ばであることから、支援を３年延長することを決定しました。
　今期、東日本区国際・交流事業委員会では、ＲＢＭへの支援を重要施策と位置付け、ＲＢＭへの献金を強くお願いしてきました。その結果、３月末の段階で、昨年度の 1.5 倍にちかい、60 万円を超える献金をいただくことができました。ご協力に感謝いたします。
　みなさまからの貴重な献金は国際本部に送金され、そこから関係団体へ寄付されています。ちなみに、国際マラリア・ディを控えて、ワイズメン国際協会の西村国際書記が、ＲＢＭ献金の一部を国際赤十字社に贈呈したニュースが、国際協会のホームページにアップされています。

利根川恵子（川越）
東日本区国際・交流事業主任

**<南センター開館時間の変更>*4/1 より変更**
月曜日・金曜日：10 時 00 分~15 時 00 分
火曜日～木曜日：10 時 00 分~18 時 00 分
土日祝祭日　　：休館日

## ５月　の　うた

**今月は、村野　繁さんの選曲です。**

「こいのぼり」
やねよりたかい　こいのぼり
おおきいひごいは　おかあさん
ちいさいまごいは　こどもたち
おもしろそうに　およいでる

みどりのかぜに　さそわれて
ひらひらはためく　ふきながし
くるくるまわる　かざぐるま
おもしろそうに　およいでる

## あとがき

　4/8 は前夜からの雨が明け方に都心でも５年ぶりの雪のため、歩行器（シルバーカー）では傘がさせず、村田榮さんに迷惑を顧みず車での送迎をお願いした。お陰で例会司会の役目を無事果たすことができた。聞けば５年前の 4/17 北陸道を車を運転して姫路から那須へ村田さんが移住した時、途中から雪の為、高速道路が閉鎖になり一般道を走って難儀した。４月の降雪はそれ以来という。今年も那須塩原は一面真っ白の銀世界から、車で目黒の例会に福島夫婦を乗せてくださったご親切に深く感謝します。　（福島）